

# 平成30年度曾於市当初予算（案）報道関係者説明会

日時：平成30年2月13日（火）  
午前10時～

場所：曾於市役所 3階 委員会室

## 会 次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 平成30年度当初予算及び平成29年度最終補正予算について
  - (1) 平成30年度当初予算編成方針
  - (2) 予算規模
    - ①会計別予算前年度比較
    - ②当初予算規模の推移
  - (3) 一般会計
    - ①予算規模
    - ②歳入
    - ③歳出
    - ④特定目的基金の状況
    - ⑤市債の状況
    - ⑥主要事業
  - (4) 特別会計
    - ① 国民健康保険
    - ② 後期高齢者医療
    - ③ 介護保険
    - ④ 公共下水道事業
    - ⑤ 生活排水処理事業
    - ⑥ 笠木簡易水道事業
  - (5) 企業会計（水道事業）
  - (6) 平成29年度最終（3月）補正予算
  - (7) 平成30年第1回曾於市議会定例会日程
- 4 質疑応答
- 5 閉会

## 配付資料

- (1) 平成30年度曾於市当初予算（案）報道関係者説明会資料
- (2) 平成30年度当初予算書
- (3) 平成30年度予算に関する説明書
- (4) 平成29年度補正予算書（一般会計）
- (5) 平成29年度補正予算書（特別会計）

## 平成30年度 曾於市当初予算(案)説明資料

当初予算編成にあたって

私は、2期目の市長選に当選しましたが、市民の皆様と約束しました公約の実現に、今後も更に努力してまいりる所存でございます。

まず、子育て支援の立場から、保護者負担の軽減策として、保育園・幼稚園等の負担金軽減や高校3年生相当時までの医療費の無料化を継続するとともに、小・中学校の給食費月額3分の1以内の補助を平成30年度から開始し、安心して子育てが出来る環境づくりを更に進めてまいります。

市の人口増対策として、平成29年度に実施した末吉地区堂園及び大隅地区坂元の宅地分譲の販売を平成30年4月に開始するとともに、平成30年度は大隅地区大隅南の宅地分譲工事を予定しております。

市民の健康づくりや生きがいづくりの場として、また、市民や市外からの利用者が広く交流し、憩える場として整備を進めてきました新地公園グラウンドゴルフ場は、平成29年10月にオープンしました。これまで、市内外の多くの皆様にご利用いただき中、今後も施設の充実とサービスの向上に努めてまいります。

農作業の受委託や農業機械導入経費の節減等を図るため、農業公社の設立を計画する中、平成30年度に曾於市農業公社を設立する運びとなりました。今後、地域農業の支援組織として機能強化を図るため、設立後も充実した事業を展開してまいります。

さて、平成29年度は、市誕生後12年を迎える中、新規事業を含めた多くの施策を実施してまいりました。

まず、思いやりふるさと寄附金推進事業につきましては、昨年度に引き続き、全国から多くの寄附金をいただき、御礼として本市の特産品を贈呈しております。平成29年度は、4月から1月までの10か月間で、約4万4千人を超える皆様に、約10億円の寄附金をいただきました。曾於市を応援くださいました全国の皆様に、心より感謝申し上げます。平成30年度も、更に、ふるさと納税に対する活動を充実し、本市の全国的なPRと地域活性化に努めてまいります。

平成28年4月に開局しましたコミュニティFM放送「SOO Good FM」は、防災情報を含めた情報発信の中核として、地域の活性化が図られるよう、放送局の着実な運営を進めているところです。市民の皆様が楽しんで頂ける放送内容に努めていきますので、今後も「SOO Good FM」をお聞きくださいますようお願いいたします。

老朽化した曾於市クリーンセンターにつきましては、施設及び設備の大規模改修工事を平成31年度までの3か年事業として開始しました。施設の長寿命化を図るため、今後も資源ゴミのリサイクル化やごみの減量化に取り組んでまいります。

まちの発展には、産業の振興が欠かせません。曾於市は、畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産額を増やすことを本市発展の基本と掲げる中、平成29年曾於市農畜産物生産実績における生産額合計は、475億2,022万4千円であり、前年度と比較すると20億7,655万6千円、4.6%の増となりました。

畜産については、昨年開催された全国和牛能力共進会において鹿児島県が総合1位の団体賞を獲得し、「鹿児島黒牛日本一」の称号を得たことから、「日本一大きな和牛モニュメント」を道の駅すえよしに設置するなど、「畜産のまち」のPRを継続的に行い、更なる畜産振興に努めてまいります。

園芸作物等については、畑かんの水を活用した農作物の収量増、品質向上を図り、農家の所得の向上を目指します。また、農家の経営安定を図るために、加工・業務用野菜の取り組みを、更に推進します。

保健事業、介護事業及び福祉事業につきましては、よりきめ細やかな推進を図るとともに、商工業振興と観光誘致事業の推進も図ってまいりました。また、本市のゆるキャラである「そお星人」とともに市のPR活動に努める中、今後も「そお星人」と本市を全国的にPRできるよう取り組みを進めてまいります。

市民の健康づくりの場として、第2回「悠久の森ランニング大会」を8月に実施し、市内外から500人を超えるランナーが参加されました。全国的にも珍しい真夏のランニング大会として、多くのランナーが自然あふれるコースを楽しみ、また、市のPRにもつながりました。

まちづくりは、人づくりであり本市発展の基本となるものです。学力向上を最大の目標として、小中学校の学習環境整備を積極的に進めるとともに、曾於高等学校の発展にも積極的に関わっていきます。例えば、国公立大学等へ進学した者に対する「大学等進学祝金贈呈事業」をはじめとする各種事業を今後も継続して実施し、優秀な人材の育成に対しまして、学校と連携し支援してまいります。

## (1) 平成30年度当初予算編成方針

平成30年度の予算編成は、平成29年度に引き続き、市民の皆様に開かれた市政を目指すとともに、農畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進し、子どもからお年寄りまで、笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため、

- (1) 市民にやさしい市政運営
- (2) 人と自然を生かした活気ある地域づくり
- (3) 教育・文化を促進し、心豊かなまちづくり
- (4) 人口増を目指し、地域活性化の推進
- (5) 農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

の5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成しました。

(2) 予算規模

① 会計別予算前年度比較表

区分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較		参考		
			増減額 (C) = (A) - (B)	増減率 (C) / (B) × 100	29/28	28/27	27/26
1 一般会計	千円 23,134,000	千円 22,186,000	千円 948,000	% 4.3	% 1.2	% △ 5.1	% 10.3
特別会計	2 国民健康保険特別会計	5,486,291	6,938,628	△ 1,452,337	△ 20.9	△ 2.1	2.2
	3 後期高齢者医療特別会計	576,277	567,674	8,603	1.5	1.3	4.4
	4 介護保険特別会計	5,484,469	5,452,818	31,651	0.6	△ 0.1	4.7
	5 公共下水道事業特別会計	196,162	186,144	10,018	5.4	△ 7.2	△ 1.3
	6 生活排水処理事業特別会計	112,679	114,217	△ 1,538	△ 1.3	△ 0.6	0.2
	7 笠木簡易水道事業特別会計	18,204	16,385	1,819	11.1	△ 91.6	△ 12.2
	小計	11,874,082	13,275,866	△ 1,401,784	△ 10.6	△ 2.5	3.0
企業会計 7 水道事業	892,528	847,717	44,811	5.3	△ 11.3	8.3	
合計	35,900,610	36,309,583	△ 408,973	△ 1.1	△ 0.5	△ 1.9	

② 当初予算規模の推移

(単位：千円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計	21,560,000	21,850,000	20,940,000	23,100,000	21,914,459	22,186,000	23,134,000
増減額	△ 387,000	290,000	△ 910,000	2,160,000	△ 1,185,541	271,541	948,000
増減率	-1.8%	1.3%	-4.2%	10.3%	-5.1%	1.2%	4.3%
特別会計							
国民健康保険特別会計	6,362,716	6,166,741	6,255,822	6,930,272	7,085,201	6,938,628	5,486,291
後期高齢者医療特別会計	504,242	513,057	535,974	536,731	560,300	567,674	576,277
介護保険特別会計	4,731,281	4,953,784	5,075,588	5,216,129	5,458,708	5,452,818	5,484,469
公共下水道事業特別会計	318,107	249,900	213,852	203,192	200,566	186,144	196,162
生活排水処理事業特別会計	106,388	110,200	113,313	114,626	114,879	114,217	112,679
笠木簡易水道事業	0	0	225,589	221,257	194,336	16,385	18,204
一般会計＋特別会計	33,582,734	33,843,682	33,360,138	36,322,207	35,528,449	35,461,866	35,008,082
増減額	△ 20,191	260,948	△ 483,544	2,962,069	△ 793,758	△ 66,583	△ 453,784
増減率	-0.1%	0.8%	-1.4%	8.9%	-2.2%	-0.2%	-1.3%

(3) 一般会計

① 予算規模

平成30年度一般会計当初予算の規模は、平成29年度当初予算に対して、948,000千円、4.3%増の23,134,000千円となりました。

② 歳入

・前年度比較表

款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 市税	3,110,302	13.5	2,968,801	13.4	141,501	4.8
2 地方譲与税	233,700	1.0	233,700	1.1	0	0.0
3 利子割交付金	2,200	0.0	2,000	0.0	200	10.0
4 配当割交付金	3,900	0.0	6,600	0.0	△ 2,700	△ 40.9
5 株式等譲渡所得割交付金	2,100	0.0	6,000	0.0	△ 3,900	△ 65.0
6 地方消費税交付金	558,300	2.4	566,400	2.6	△ 8,100	△ 1.4
7 自動車取得税交付金	35,000	0.2	25,200	0.1	9,800	38.9
8 国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,300	0.0	2,200	0.0	100	4.5
9 地方特例交付金	10,000	0.0	9,800	0.1	200	2.0
10 地方交付税	8,049,000	34.8	8,230,000	37.1	△ 181,000	△ 2.2
11 交通安全対策特別交付金	5,500	0.0	6,100	0.0	△ 600	△ 9.8
12 分担金及び負担金	190,303	0.8	190,009	0.9	294	0.2
13 使用料及び手数料	299,377	1.3	297,892	1.3	1,485	0.5
14 国庫支出金	2,705,632	11.7	2,334,591	10.5	371,041	15.9
15 県支出金	1,491,600	6.5	2,081,461	9.4	△ 589,861	△ 28.3
16 財産収入	222,216	1.0	188,350	0.9	33,866	18.0
17 寄附金	1,005,003	4.3	1,005,003	4.5	0	0.0
18 繰入金	2,193,753	9.5	1,580,575	7.1	613,178	38.8
19 繰越金	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
20 諸収入	256,214	1.1	160,118	0.7	96,096	60.0
21 市債	2,707,600	11.7	2,241,200	10.1	466,400	20.8
歳入合計	23,134,000	100.0	22,186,000	100.0	948,000	4.3

(概要)

市税は、市民税、固定資産税の増等により、4.8%増の3,110,302千円を計上し、地方交付税の普通交付税は、合併特例措置の段階的縮減を考慮して算定し、7,749,000千円を計上しました。

国庫支出金は、二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金等の増により、15.9%増の2,705,632千円を計上し、県支出金は過年発生農地・農業用施設災害復旧費補助金等の減により、28.3%減の1,491,600千円を計上しました。

財産収入は、地域商品券売払収入等の増により、18.0%増の222,216千円を計上し、寄附金は、思いやりふるさと寄附金を1,000,000千円計上し、前年度と同額の1,005,003千円となりました。繰入金は、財政調整基金の増等により、38.8%増の2,193,753千円を計上し、市債については、クリーンセンター施設整備事業等の増により、20.8%増の2,707,600千円を計上しました。

### ③ 歳出

#### ・目的別前年度比較表

款	平成30年度		平成29年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C) = (A) - (B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	192,597	0.8	184,963	0.8	7,634	4.1
2 総務費	1,924,545	8.3	1,958,071	8.8	△ 33,526	△ 1.7
3 民生費	7,263,978	31.4	7,277,456	32.8	△ 13,478	△ 0.2
4 衛生費	2,024,475	8.8	1,333,746	6.0	690,729	51.8
5 労働費	0	0.0	1,007	0.0	△ 1,007	△ 100.0
6 農林水産業費	2,109,686	9.1	2,240,444	10.1	△ 130,758	△ 5.8
7 商工費	2,169,422	9.4	2,076,511	9.4	92,911	4.5
8 土木費	1,942,378	8.4	1,865,822	8.4	76,556	4.1
9 消防費	802,681	3.5	690,419	3.1	112,262	16.3
10 教育費	1,448,334	6.3	1,421,088	6.4	27,246	1.9
11 災害復旧費	29,993	0.1	32,942	0.2	△ 2,949	△ 9.0
12 公債費	3,195,911	13.8	3,073,531	13.9	122,380	4.0
13 予備費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
歳 出 合 計	23,134,000	100.0	22,186,000	100.0	948,000	4.3

#### (概要)

総務費は、前年度に対し、市長・市議会議員選挙費等の減により、33,526千円、1.7%の減となっています

民生費は、前年度に対し、国民健康保険特別会計繰出金や後期高齢者医療特別会計繰出金等の減により、13,478千円、0.2%の減となっています。

衛生費は、前年度に対し、曾於市クリーンセンター施設整備事業等の増により、690,729千円、51.8%の増となっています。

農林水産業費は、前年度に対し、活動火山周辺地域防災営農対策事業費補助金や畜産クラスター整備事業補助金等の減により、130,758千円、5.8%の減となっています。

商工費は、前年度に対し、商品券発行事業交付金や道の駅たからべ屋外便所建替工事等の増により、92,911千円、4.5%の増となっています。

土木費は、前年度に対し、都城志布志道路流末用排水路整備負担金や市道維持工事等の増により、76,556千円、4.1%の増となっています。

消防費は、前年度に対し、財部分署建設工事や消防車両購入費等の増により、112,262千円、16.3%の増となっています。

教育費は、前年度に対し、学校給食費負担軽減補助金や菅牟田小学校特別教室棟建築工事等の増により、27,246千円、1.9%の増となっています。

公債費は、元金が増となり、122,380千円、4.0%の増となっています。

・ 性質別前年度比較表

款		平成30年度		平成29年度		比 較	
		予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A) - (B)	増減率
		千円	%	千円	%	千円	%
消費的 経費	1 人件費	2,917,100	12.6	2,806,375	12.6	110,725	3.9
	2 物件費	3,439,633	14.9	3,434,844	15.5	4,789	0.1
	3 維持補修費	282,217	1.2	280,744	1.3	1,473	0.5
	4 扶助費	4,168,494	18.0	4,118,780	18.6	49,714	1.2
	5 補助費等	2,118,027	9.2	2,076,297	9.4	41,730	2.0
	(消費的経費合計)		12,925,471	55.9	12,717,040	57.4	208,431
投資的 経費	6 普通建設事業費	3,297,456	14.3	2,625,395	11.8	672,061	25.6
	(1) 補助事業費	1,192,129	5.2	510,578	2.3	681,551	133.5
	(2) 単独事業費	1,667,004	7.2	1,737,027	7.8	△ 70,023	△ 4.0
	(3) 国直轄事業負担金	1,700	0.0	0	0.0	1,700	0.0
	(4) 県営事業負担金	436,623	1.9	377,790	1.7	58,833	15.6
	7 災害復旧事業費	29,993	0.1	32,942	0.1	△ 2,949	△ 9.0
	(投資的経費計)		3,327,449	14.4	2,658,337	11.9	669,112
その 他の 経費	8 公債費	3,195,911	13.8	3,073,531	13.9	122,380	4.0
	9 積立金	1,160,617	5.0	1,157,301	5.2	3,316	0.3
	10 投資及び出資金	2,350	0.0	0	0.0	2,350	皆増
	11 繰出金	2,492,202	10.8	2,549,791	11.5	△ 57,589	△ 2.3
	12 予備費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
	(その他の経費合計)		6,881,080	29.7	6,810,623	30.7	70,457
歳 出 合 計		23,134,000	100.0	22,186,000	100.0	948,000	4.3

(概要)

人件費は、委員報酬等の増により、3.9%増の2,917,100千円となり、物件費は、委託料や旅費等の増により、0.1%増の3,439,633千円を計上しました。扶助費は、老人福祉費や児童福祉費等の扶助費の増により、1.2%増の4,168,494千円、補助費等は、商品券発行事業交付金等の増により、2.0%増の2,118,027千円、公債費は、4.0%増の3,195,911千円を計上しました。また、繰出金は、後期高齢者医療特別会計等への繰出金の減により、2.3%減の2,492,202千円を計上しました。普通建設事業費は、クリーンセンター基幹的設備改良工事等の増により、25.6%増の3,297,456千円を計上しました。

#### ④ 特定目的基金の状況

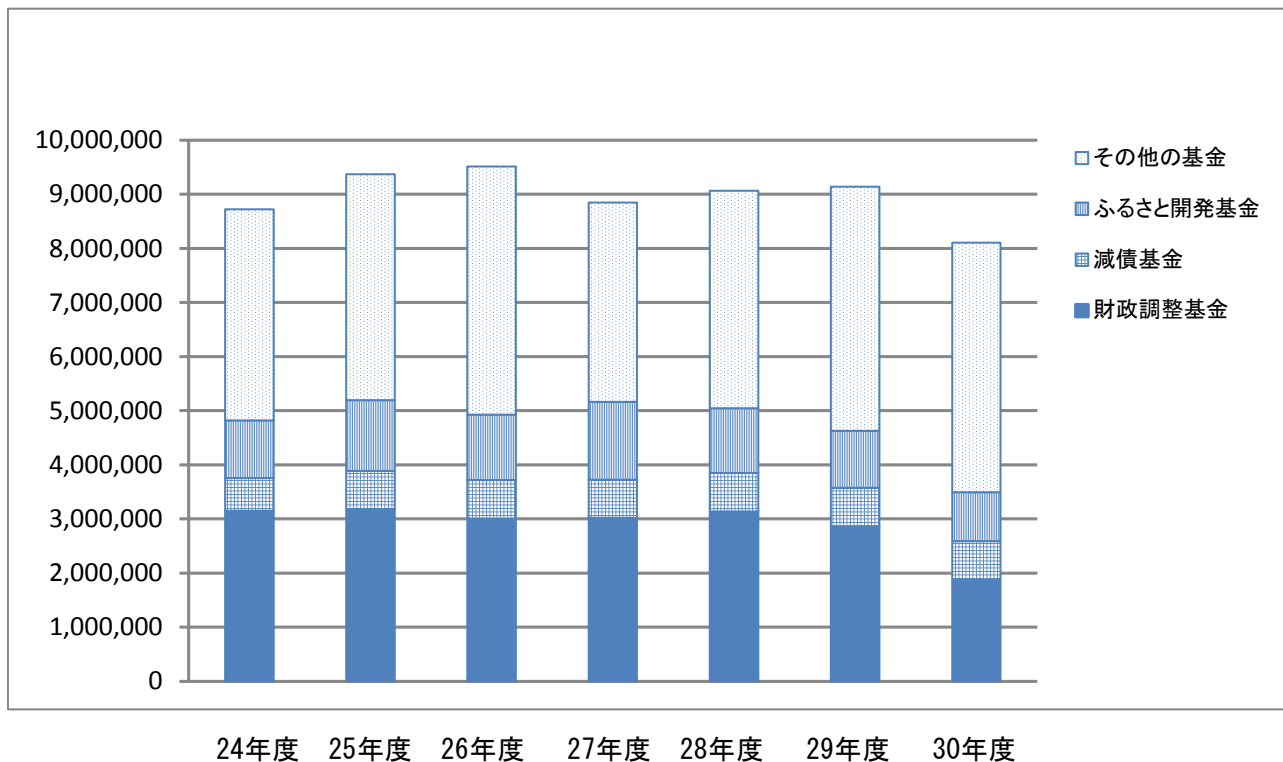
##### ・ 当初予算編成時の基金繰入状況

区 分	平成30年度 当初予算(A)	平成29年度 当初予算(B)	増減額 (A)-(B)	増減率
	千円	千円	千円	%
財政調整基金	984,050	733,109	250,941	34.2%
その他特定目的基金	1,209,700	847,463	362,237	42.7%
合 計	2,193,750	1,580,572	613,178	38.8%

##### ・ 平成30年度当初予算編成後及び各年度決算による基金残高の推移

(単位：千円)							
基金名	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度 当初予算後
1 財政調整基金	3,152,751	3,186,174	3,011,357	3,020,705	3,140,206	2,864,918	1,881,330
2 減債基金	603,257	704,054	704,955	705,969	707,314	708,362	708,504
3 ふるさと開発基金	1,065,395	1,307,055	1,209,401	1,435,736	1,199,336	1,055,608	905,817
4 その他の基金	3,897,629	4,171,475	4,588,629	3,682,019	4,017,463	4,509,293	4,609,397
計	8,719,032	9,368,758	9,514,342	8,844,429	9,064,319	9,138,181	8,105,048
対前年度増減額	604,455	649,726	145,584	△ 669,913	219,890	73,862	△ 1,033,133

(単位：千円)





## ⑤ 市債の状況

### ・市債の発行額の推移

(単位：千円)

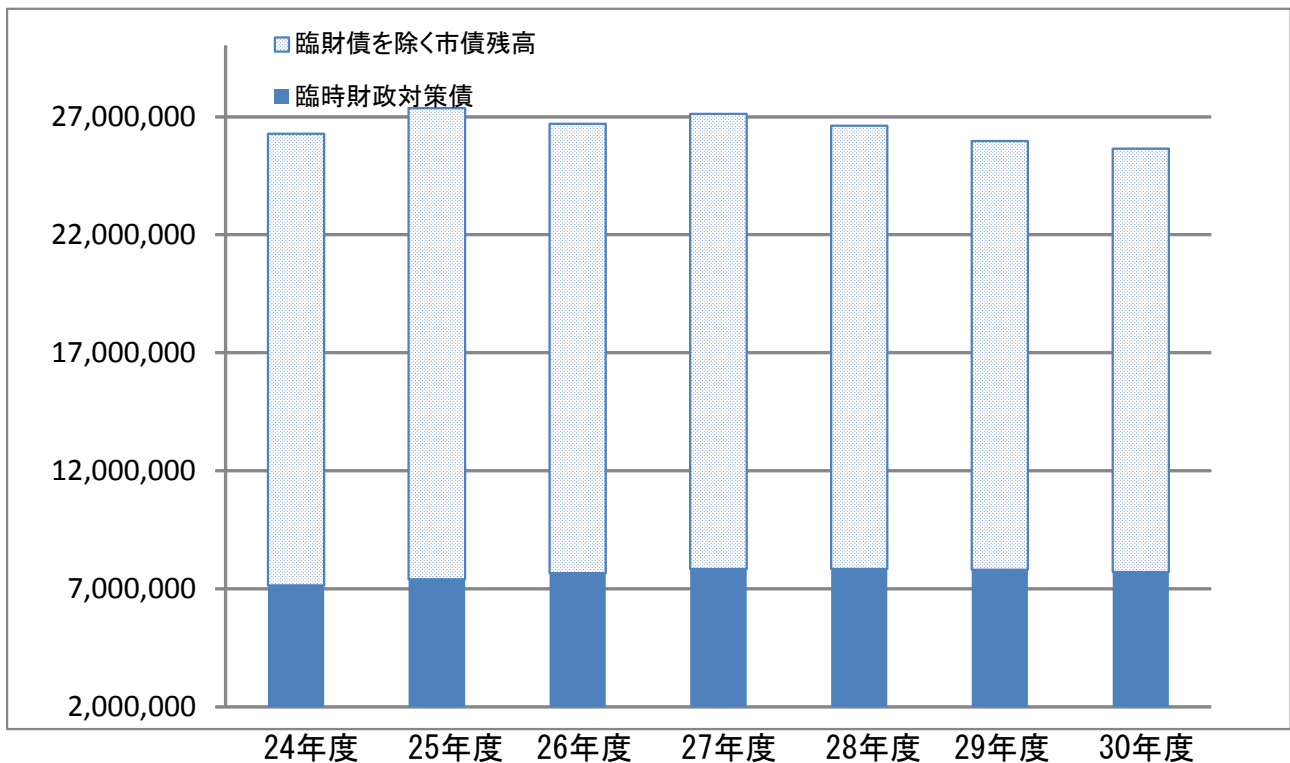
	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度見込み	30年度当初予算
臨時財政対策債	742,600	756,400	728,300	689,400	545,800	544,800	540,000
臨時債を除く市債額	2,986,300	3,258,600	1,547,600	2,641,800	1,741,500	1,693,400	2,167,600
合計	3,728,900	4,015,000	2,275,900	3,331,200	2,287,300	2,238,200	2,707,600
対前年度増減額	△ 172,600	286,100	△ 1,739,100	1,055,300	△ 1,043,900	△ 49,100	469,400
増減率	-4.4%	7.7%	-43.3%	46.4%	-31.3%	-2.1%	21.0%

### ・市債の借入残高の推移

(単位：千円)

	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度見込み	30年度当初予算
臨時財政対策債	7,146,326	7,402,316	7,671,377	7,843,280	7,847,488	7,802,103	7,706,077
臨時債を除く市債残高	19,132,213	19,966,673	19,021,935	19,278,025	18,765,912	18,172,736	17,945,430
合計	26,278,539	27,368,989	26,693,312	27,121,305	26,613,400	25,974,839	25,651,507
対前年度増減額	791,729	1,090,450	△ 675,677	427,993	△ 507,905	△ 638,561	△ 323,332
増減率	3.1%	4.1%	-2.5%	1.6%	-1.9%	-2.4%	-1.2%
臨時債を除く市債残高増減率	2.2%	4.4%	-4.7%	1.3%	-2.7%	-3.2%	-1.3%

(単位：千円)



## ⑥ 主要事業

(●印は重点事業, ★印は新規事業)

### 【総務課】

#### ア 自治会活動の促進 (75,459千円)

- (7) 協働社会の充実と助け合う地域づくりを推進し、安心して生活できる地域づくりの確立と自治活動の基盤整備を促進する。
- (1) 自治会振興補助金の交付
  - (2) 自治会統合に対する助成
  - (3) 自治公民館建設に対する助成
  - (4) 集落支援員を設置 (専任4人, 兼任3人)

#### イ 交通安全・防犯対策 (9,484千円)

- (7) 各種団体や曾於警察署等との連携のもと交通安全教育や街頭指導, 広報活動等を実施する。
- (4) 官民が一体となった犯罪や事故等の未然防止により, 住みよい安全・安心なまちづくりの実現に向けた積極的な取り組みを実施する。
- (1) 防犯灯設置に対する助成
  - (2) 安全安心まちづくり指導員を設置 (1人)

#### ウ 選挙費 (33,625千円)

- (7) 明るく公正な選挙の執行と投票率向上を推進する。
- (1) 県議会議員選挙 (平成31年4月)

#### エ 行政改革 (1,214千円)

- (7) 時代、住民ニーズに即応できる行政体制の強化及び持続可能な行財政構造の構築を実現するため, 行財政改革を積極的に推進する。
- (1) 行政改革推進委員会の開催

#### オ 行政情報システムの整備 (89,338千円)

- (7) 住民のサービスの向上, 行政事務の効率化, 地域社会の変動に対応した基盤強化を最新の情報技術の活用を行う。

#### カ 共生協働社会推進事業 (2,073千円)

- (7) 地域住民が、元気でいきいきとした生活ができるための市民提案型地域づくり活動を支援する。
- (4) 市民提案内容に、「多文化共生」と「結婚応援」のテーマを指定し, 活動を支援する。

#### キ 消防・防災対策 (802,681千円)

- (7) 災害, 火災等を想定した安全安心なまちづくりを推進する。
- (1) 大隅曾於地区消防組合の常備消防体制の維持・強化
    - ★・消防施設の充実 (93,183千円) 財部消防分署建替工事
  - (2) 地域の消防団等の活動拠点の整備
    - ・消防施設の充実 (38,122千円) 消火栓設置工事, 防火水槽設置工事
    - ・消防分団装備の充実 (36,423千円) 麓分団タンク車
  - (3) 防災対策の充実
    - ・危機管理監の配置 (1人)
    - ・公民館単位の自主防災組織の育成
    - ・地震災害を想定した訓練の実施
    - ・災害対策用品の購入
- ★・Jアラート新型受信機の導入

### 【企画課】

#### ア まち・ひと・しごと創生に関する施策の推進

- (7) 地域創生推進室を核とした曾於市のまち・ひと・しごと創生に関する施策を推進する。

- (1) 曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業を実施する。
- (2) 地方創生推進交付金対象事業を実施する。(8事業, 61, 594千円)

## イ 情報発信事業

- (7) 市報そお, ホームページ, 市勢要覧, テレビCMによる情報を発信する。(21, 790千円)
- (4) コミュニティFM放送局の運営(30, 000千円)  
行政の情報伝達手段として, コミュニティFM放送局の運営管理を行い, 地域の小さい話題や行政からの情報, 市民の暮らしに役立つ情報などを伝えるとともに, 災害発生情報や防災に関する情報を早く広く伝える。
- (ウ) 曾於市出身者を対象に, 「曾於市PR大使」を委嘱し, 市の知名度アップを図る。(1, 056千円)

## エ 男女共同参画, 子ども・若者育成のための取り組み(1, 622千円)

- (7) 男女共同参画推進講座, 魅力アップセミナーを実施する。

## ●オ 定住促進対策事業(76, 636千円)

- ★(7) 末吉地区堂園, 大隅地区坂元の宅地分譲販売を開始する。
- ★(4) 大隅地区大隅南の宅地分譲地の造成工事を行う。(33, 035千円)
  - (ウ) 曾於市の魅力の発信や都市農村交流の促進, 移住交流事業の促進を図る。(13, 658千円)
    - (1) 魅力アップ移住・田舎暮らし体験プログラム(地方創生推進交付金対象事業)
  - (イ) 定住促進に向けた対策を実施する。(29, 943千円)
    - (1) 住宅取得祝い金等の支給
    - (2) 空き家バンク登録住宅改修補助金の交付
    - (3) 市有地活用定住促進補助金の交付
- ★(4) 結婚応援プロジェクトの実施

## カ 交通対策事業(78, 068千円)

- (7) 高齢者等の移動手段のための思いやりタクシーやバスの運行を実施する。
- (4) 生活交通路線維持のための廃止代替バス等の運行費を助成する。

## キ 企業誘致対策事業(92, 207千円)

- (7) 企業立地に向けた情報収集や企業訪問などの積極的な誘致活動を実施する。
  - (1) 企業誘致支援員2人配置(地方創生推進交付金対象事業・3, 208千円)
  - (2) 学校跡地活用女性起業家応援プロジェクト実施(地方創生推進交付金対象事業・11, 205千円)
- ★(3) 若者定住・雇用創出事業実施(地方創生推進交付金対象事業・8, 341千円)
- (4) 誘致企業への雇用及び設備投資等の助成を行う。
  - (1) 雇用促進補助金の交付
  - (2) 工場設置補助金の交付
  - (3) 雇用創出関連施設等設備補助金の交付
  - (4) 企業人材育成事業補助金の交付
  - (5) 地域雇用開発補助金の交付

## ク 山中貞則顕彰記念事業(16, 001千円)

- (7) 平成26年4月にオープンした山中貞則顕彰館を, 後世を担う若者の勉学修行の場, 市民の研修・憩いの場として活用する。

## ケ 地域おこし協力隊事業(21, 203千円)

- (7) 市外から曾於市内に生活の拠点を移した者を「地域おこし協力隊員」として委嘱し, 隊員は, 地域ブランドの発信や地場産品の開発, PR等の地域おこし活動を行う。

## 【財政課】

### ●ア 財政運営の健全化

様々な行政サービスは, 将来にわたって健全な財政を維持しながら行っていかなければ成り立たなく, 今後も, 国や県等の施策を注視しながら, 総合振興計画や行政改革大綱, 財政計画等に沿って, 歳出の

合理化、効率化、重点化など、健全財政の運営に努める。

●イ 公共施設等総合管理計画による各施設の具体的な更新・廃止を検討

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針となる公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定した。今後は、この計画に基づき、施設毎に具体的に更新・廃止などを検討することにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現する。

ウ 市有財産の管理

公有財産の適切な管理と遊休資産の売却・貸付を促進する。

エ 入札契約

透明性の確保及び公正な競争を促進するとともに、地域経済の活性化及び地元企業の育成など市内業者の受注機会の確保も図り、入札・契約の適正な執行を実施する。

## 【税務課】

ア 納税の啓発

イ 適正かつ公平な課税

ウ 収納率向上と未納額の早期解消へ向けた滞納者の十分な調査及び滞納処分の強化

## 【市民課】

ア 国民年金制度の周知と保険料納付の奨励（1, 725千円）

イ 生活環境

●(7) クリーンセンター施設・設備の大規模改修工事を行う。

(1) 平成29年度から平成31年度までの3か年事業（3か年合計1, 736, 207千円）

(イ) 資源ごみのリサイクル化とごみの減量化及び環境保全への取組を強化する。（338, 057千円）

(ウ) 合併浄化槽設置整備を推進する。（財部地域22, 074千円、末吉及び大隅地域は水道課に掲載）

(エ) 曾於北部衛生処理組合の施設を維持する。（66, 361千円）

## 【福祉事務所（福祉課）】

ア 社会福祉（62, 507千円）

(7) 医療・介護・福祉・年金等さまざまな相談やニーズに対応するため、民生委員・児童委員の方々と連携し、市民総ぐるみによる福祉活動の推進及び地域福祉を推進する。

(1) 民生委員活動費（22, 674千円）

(2) 地域自殺対策緊急強化事業（2, 168千円）

●(3) 生活困窮者自立支援事業（9, 847千円）

イ 高齢者福祉（339, 143千円）

(7) 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができるような支援体制を充実する。

(1) 訪問給食サービスの提供（129, 968千円）

(2) 訪問専門員による見守り活動の充実や地域が自ら行う在宅福祉アドバイザーや新聞販売所等のネットワークを通じた見守り活動の促進（11, 487千円）

(3) 在宅での介護支援や住宅改造の支援（3, 458千円）

(イ) 高齢者が自分の能力や特技を生かし地域に貢献し生きがいの持てる地域社会を構築する。

(ウ) 市政発展に寄与された高齢者の功労を讃える取り組みを行う。

(1) 敬老祝金を75歳以上の方々へ全員支給（31, 023千円）

ウ 障害者福祉（1, 319, 752千円）

- (7) 身体障害や知的障害及び精神障害の3障害の一本化及び難病患者等を追加した総合支援報による障害者の在宅サービスや施設入所等の福祉向上を促進する。
- (4) 重度心身障害者医療費助成事業や特別障害者手当の支給などによる障害者及び家族が安心して暮らせる事業を継続する。

#### エ 児童福祉（2,263,007千円）

- (7) 少子化対策への積極的な取り組みやひとり親家庭等への支援、児童虐待への迅速な取組を行う。
  - (1) 出産祝金支給事業（6,513千円）
  - (2) ひとり親家庭医療費助成事業（2,120千円）
  - (3) 母子家庭等就労支援対策事業の実施（6,340千円）
  - (4) 父子・母子家庭等に対する児童扶養手当の支給（199,116千円）
  - (5) 家庭児童相談員等による児童虐待やDV等の未然防止及び迅速な対応の強化（6,136千円）
  - (6) 保育所の保護者負担金の軽減措置の継続（1,283,459千円）
  - (7) 放課後児童クラブへの支援の継続（158,011千円）
  - (8) 地域子ども・子育て支援事業（21,311千円）

#### オ 生活保護（624,253千円）

- (7) 保護対象世帯の資産の活用状況や扶養義務者の把握など実地調査に基づく適正な保護事務を行うとともに、その世帯の状況にあった生活や病状、教育等の支援を実施する。
- (4) 就労支援員や面接相談員の積極的な助言、指導により保護世帯等の自立を促進させる。

#### カ 子ども医療費助成事業（108,891千円）

- 高校3年生相当時までの医療費の無料化を継続して実施する。

## 【保健課】

#### ア 健康増進事業（133,388千円）

- (7) 各種保健事業を実施する。（79,510千円）
  - (1) 住民の健康を主体とした元気で快適に生活できる地域社会の実現に向けての事業を実施する。
  - (2) 早期発見・早期治療を目的に各種検診の受診率向上を図るために、従来の集団検診に加えて、医療機関での個別検診（胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん）を実施する。
  - (3) 子宮がん、乳がんの節目対象者に対して無料クーポンを発行し、受診率向上を推進する。
  - (4) B型・C型肝炎ウイルス検診を節目者に対して実施し、肝炎ウイルスによる健康被害を防止する。
- (4) 所お生きいき健康センターの活用を促進する。（17,632千円）
  - (1) 乳幼児から高齢者までの健康増進及び福祉の向上を目的とする各種事業の充実。
  - (2) 健康運動指導士等の配置や充実したトレーニング機器を活用した多様な健康づくり事業の提供。
- (ウ) 母子保健事業を実施する。（36,246千円）
  - (1) 女性が安心して子どもを産み育てるために、妊婦健診の14回無料化や特定不妊治療費助成及び妊婦歯科検診、未熟児の訪問指導、乳児家庭の全戸訪問などの実施。

#### イ 予防事業（92,078千円）

- (7) 少子化対策の重点施策として、各種予防接種費用の全額又は一部自己負担金の助成を行い、疾病予防事業を実施する。
- (4) 結核検診を実施し、結核の早期発見・まん延予防に努める。

#### ウ 地域医療支援（66,787千円）

- (7) 救急医療等の医療の確保及び医療従事者の養成力の充実を図るため、医療施設等負担金を交付する。
- (4) 医師不足や自殺防止対策及び市民の安心感の提供対策として、24時間・年中無休体制で、医師・看護師等による市民の健康・医療・育児・看護等の相談に応じるサービス事業を実施する。

#### エ 国民健康保険・後期高齢者医療

- (7) 医療費の適正化対策や健康長寿を目指して、特定健康診査及び特定保健指導に鋭意努めるとともに、脳卒中对策プロジェクト事業やCKD（慢性腎臓病）対策を推進し、生活習慣病の発症・重症化の予防などにより、医療費増の抑制を図る。

- (イ) 受診しやすい環境整備やがん検診受診率の向上を図るために、特定健診とがん検診等を組み合わせたミニドック事業を実施する。
- (ウ) 医療費高騰や景気低迷等に伴う財政悪化を改善するとともに、保険税の負担軽減を図るために、市単独の一般会計繰入を実施する。
- (エ) 75歳以上の後期高齢者医療制度については、医療費抑制を図るために重複・頻回受診者訪問指導や長寿健診及び長寿健診要医療者訪問指導事業を実施する。
- (オ) 温泉保養券を65歳以上の全市民を対象とする入浴保養券として助成する。

## 【介護福祉課】

### ア 介護保険給付

高齢者が住み慣れた地域で、安心して、その人らしい生活が継続できるよう介護サービスの充実を図る。

### イ 地域支援事業

- (1) 地域包括支援センターを委託し、専門職の人員体制を整え機能充実を図る。
- (2) 経済的理由により認知症対応型グループホームに入所が困難な高齢者等の負担軽減を図るために、家賃等の一部助成を実施する。
- (3) 市内3ヶ所に相談窓口として設置してある地域福祉相談センターに生活支援コーディネーターを配置し包括支援センターとのより一層の連携・協力体制の整備を図る。
- (4) 独居老人等の要援護者支援対策として、地域で安心して生活できるよう緊急通報装置（コールセンター24時間対応、人体感知センサーの設置）の充実・普及の推進する。
- (5) 高齢者のニーズや介護の状態にあった多様なサービスを提供し、重度化防止を図る。

## 【農業委員会】

<組織理念：かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる架け橋>

### ア 農地の確保と有効利用の促進等に係る活動の積極的な展開（28,872千円）

- (ア) 認定農業者等担い手の経営改善に対応した農地の利用集積を促進する。
- (イ) 耕作放棄地全体調査で確認した遊休地（要活用農地）に関する有効活用の啓発と利用促進する。
- (ウ) 認定農業者との意見交換をふまえた行政庁への政策提言を行う。

### イ 農業従事者の将来の生活安定のための農業者年金への新規加入の促進（356千円）

## 【農林振興課】

### ア 農業の振興（151,223千円）

- (ア) これからの農業を担い支える新規就農者や農業後継者を育成する。（17,643千円）
- (イ) 園芸作物の各品目の栽培面積の維持拡大と輪作体系の確立を図る。（19,236千円）
- (ウ) 良質堆肥による健全な土づくりを基本とした環境保全型農業を推進する。（17,174千円）
- (エ) 水利用による品質の向上や作柄の安定による産地化を推進する。（6,009千円）
  - (1) 加工・業務用野菜供給産地育成事業（地方創生推進交付金対象事業・2,700千円）
  - (オ) そお茶銘柄確立のための茶業振興の推進する。（2,410千円）
  - (カ) ゆず生産量の増大に向けた施策を実施する。（8,842千円）
  - (キ) 地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組みとして、6次化産業化を支援する。（1,440千円）

### イ 林業の振興（94,645千円）

- (ア) 木材需要の拡大と林業生産活動の活性化を図るため、森林組合をはじめ関係機関や団体との連携を図り、適切な森林施業を通じ森林の多面的機能の保全に配慮しながら林道や作業路等の基盤整備を推進する。

- (1) 治山事業（５０５千円）
- (2) 市単独間伐促進対策，再造林促進対策事業を実施する。（１７，６９３千円）
- (3) 林道管理費（１４，３８２千円）
- (4) 市有林管理費（３９，３７９千円）

## 【商工観光課】

### ア 観光の振興（１０５，０７４千円）

- (7) 観光協会や道の駅，曾於市観光特産開発センターなど関係団体との連絡協調のもと，観光資源の保存開発及び特産品の生産と販売事業を推進する。
  - (1) 特色ある観光誘致業務委託（地方創生推進交付金対象事業・２６，４５６千円）
  - (2) 宅配サービス業務委託（地方創生推進交付金対象事業・５，８９７千円）
  - (3) 大隅広域観光推進事業（地方創生推進交付金対象事業・７，３４１千円）
  - (4) 市観光協会・観光関連イベント助成事業（５，７８０千円）
  - (5) ３か所の道の駅の施設管理運営（４５，８７２千円）

### イ 商工業の振興（１，９１６，５３０千円）

- (7) 商工会などの関係機関や団体と緊密な連携を図り，地元商店街の活性化を推進する。
  - (1) 商工業新規就業者補助（２６，８８０千円）
  - (2) 店舗新築・改築補助（５，０００千円）
  - (3) 地場産業連携振興調査事業補助（１，０００千円）
  - (4) 商工業者設備資金・運転資金利子補給補助（７，６００千円）
  - (5) 地域商品券発行事業（１３５，５００千円）
- (イ) 農畜産物のブランド確立を推進する。（７１０千円）
  - (1) 認証品目の拡充と付加価値の高い製品作りによる販路拡大の促進
  - (2) 商談会や新規加工食品開発の推進

- (E) 思いやりふるさと寄附金推進事業を重点的に推進する。（１，７０７，９０５千円）
  - (1) ふるさと納税制度を活用した思いやりふるさと寄附金推進事業を全国へPRする。
  - (2) ふるさと納税寄附者に対し，曾於市の特産品を贈呈し，本市の全国的なPRと地域活性化に努める。

## 【畜産課】

### ア 畜産の振興（３８６，５８４千円）

- (7) 畜産振興協議会による畜産振興と経営基盤の強化促進を図る。（２８，０００千円）
  - (1) 優良種畜の導入保留の確立・改良増殖対策及び組織の強化育成
- (イ) 肥育牛等の導入や経営改善等に伴う資金借入に対する農家負担を軽減するため，無利子貸付事業や利子補給補助を実施する。（６００千円）
  - (1) 畜産経営維持緊急支援対策資金等の利子補給補助金
  - (2) 畜産振興基金による無利子の貸付事業
- (ウ) 畜産生産基盤施設を整備するため，助成事業を実施する。（１８７，９１５千円）
  - (1) 省力化と多頭化が期待されるパドック式牛舎設置への助成
  - (2) 既存牛舎の改造・増築への助成
  - (3) 家畜排泄物の適正な管理及び環境保全に配慮した堆肥舎・尿溜槽の建設への助成
  - (4) 畜産基盤再編総合整備事業による３経営体の施設等整備への補助金（２４，６７５千円）
  - (5) 資源リサイクル畜産環境整備事業による３経営体の施設等整備への補助金（１４６，０３０千円）
- (E) 家畜防疫及び環境保全対策事業を実施する。（１１，２６２千円）
  - (1) PEDなどの家畜伝染病の防止及び環境保全対策の実施
- (オ) 繁殖雌牛飼養頭数の確保を図るため繁殖雌牛導入保留緊急対策事業を継続する。（３０，９００千円・１頭当たり３０千円，１戸当たり１５頭を限度）
- (カ) 肥育農家の枝肉価格低迷による経営の悪化を補てんするための肥育素牛導入保留緊急対策事業を継続する。（１７，７００千円・１頭当たり３０千円，１戸当たり４０頭を限度）
- (キ) 防疫対策と併せた地域内一貫体制の確立と地域社会や自然と融合できる環境保全型農業を推進する。

(11, 262千円)

★(ク) 和牛日本一「鹿児島黒牛」PR事業を実施する。(10, 699千円)

平成29年度に開催された全国和牛能力共進会において、鹿児島県が総合1位の団体賞を獲得し、次回開催まで「鹿児島黒牛日本一」の称号をPRできることから、「日本一大きな和牛モニュメント」を道の駅すえよしに、PR看板を国道10号の沿道に設置する。

## 【耕地課】

ア 農業生産基盤の整備 (752, 198千円)

農業の生産性を高め、農業経営の安定を図るため、ほ場整備、農道整備、農業用排水施設整備など、農業の持続的発展を支える基盤の整備に努めるとともに、効果的な防災・減災対策事業の活用により、災害に強い農村づくりを進める。

(7) 国県補助事業及び市単独事業による農地、農業用施設の整備

- (1) 農道等維持補修費 (76, 590千円)
- (2) 農業・農村活性化推進施設等整備事業 (46, 590千円)
- (3) 市単独土地改良事業費 (7, 352千円)
- (4) 老朽化した農業用施設を改修する土地改良施設維持管理適正化事業 (12, 017千円)
- (5) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (5, 922千円)
- (6) 農業基盤整備促進事業 (22, 796千円)
- (7) 多面的機能支払交付金事業 (126, 226千円)

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同で行う、地域資源（農地、水路、農道等）の基礎的保全活動や質的向上（長寿命化）を図る活動の支援及び推進を積極的に行い、農村環境の整備に努める。

●(イ) 県営土地改良事業による農地、農業用施設の整備

市は実績に応じて負担金を支出 (386, 623千円)

- (1) 畑地帯総合整備事業 曾於北部地区 (280, 500千円)
- (2) シラス対策事業 竹山地区 (6, 000千円)
- (3) 中山間地域総合整備事業 大隅地区 (6, 000千円)
- (4) 農村振興総合整備事業 末吉地区 (25, 500千円)
- (5) かんがい排水事業 大隅南地区 (6, 375千円)
- (6) 特殊農地保全整備事業 梶ヶ野東迫地区 (3, 382千円)
- (7) 農地整備事業（畑地担い手支援型）大隅南地区 (37, 912千円)
- (8) 農村地域防災減災事業 岩松地区 (1, 489千円)
- (9) 農山漁村地域整備交付金農地整備事業 曾於北部地区 (19, 465千円)

●(ウ) 畑地かんがい事業の推進

曾於北部地区と大隅南地区で県営事業を実施中であり、今後も関係機関と連携し、給水栓設置及び散水器具の導入推進を図る。

また、国営事業で造成された曾於東部地区の中岳ダム及び曾於北部地区の谷川内ダムの管理については、曾於東部及び曾於北部土地改良区と協力しながら適正な維持管理に努める。基幹水利施設管理事業 (16, 300千円)

## 【建設課】

ア 市道等の整備 (道路新設改良費予算総額 855, 769千円)

本格的な高齢化社会を迎える中で、医療・福祉施設の利用に対する時間短縮や利便性の確保、また通学路や生活道路としての安全性の確保等について整備すべき市道の新設改良や排水路整備、橋梁の長寿命化改修を実施する。

イ 老朽化した公営住宅の改善及び改修、定住促進のための住宅整備

●(7) 川内団地外壁落下防止工事及びウッドタウン財部外壁・屋根塗装改善工事を実施する。

(37, 831千円)

- (イ) 大隅桜ヶ丘団地建て替えのためのPFI事業アドバイザーを委託する。(9, 580千円)
- (ウ) 市外からの転入者向けの地域振興住宅を建設する。(113, 524千円)



- (I) 住環境整備に向けた事業を推進する。
  - (1) がけ地近接等危険住宅移転事業の実施（8, 155千円）
  - (2) 木造住宅の耐震診断や耐震改修工事に対する補助金の交付（2, 100千円）
  - ★(3) 狭あい道路整備等促進事業の実施（3, 465千円）
  - ★(4) 空き家再生等推進事業の実施（262千円）
  - (5) 危険廃屋解体撤去補助金の交付（28, 500千円）
  - (6) 住宅リフォーム促進事業補助金の交付（12, 900千円）

## ウ 都市計画事業

- (7) 市内19か所の都市公園の適切な維持管理を行う。
- (4) 末吉新地公園グラウンドゴルフ場及び駐車場の整備を行う。（36, 319千円）
- ★(4) 財部児童公園の整備を行う。（17, 924千円）

## 【水道課】

### ア 浄化槽設置整備事業

- (7) 合併浄化槽設置整備を推進する。（末吉及び大隅地域 57, 242千円）
  - (1) 国県補助基準額に10万円を上限として補助金の上乗せ
  - (2) 単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えについては、単独浄化槽の撤去費の補助上乗せに9万円を上限として補助金の上乗せ

### イ 公共下水道事業

平成9年が開始した工事が計画面積200haを概成し、今後は公営企業会計移行の手続きを進める。

- ★(7) 汚泥処理施設棟設計業務委託を実施する。
- ★(4) 公営企業会計移行支援業務委託を実施する。
- (4) 推進員の配置による地域住民のサポート及び下水道接続を推進する。

### ウ 水道事業

- (7) 水の安定供給対策を図る。
  - (1) 年時的な老朽施設を更新する。
  - ★(2) 末吉上水・簡易水道を統合し南之郷・深川地域の水源及び施設整備を行う。

## 【教育委員会】

### <基本理念> 個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

- ・基本目標・ 覇気に満ち、常に夢実現にチャレンジする児童・生徒の育成
- 潤いに満ち、常に夢実現にチャレンジする市民の育成

## 【教育委員会総務課】

### ア 学びを支える安全・安心で魅力ある教育環境の実現（602, 320千円）

- (7) 充実した教育活動を存分に展開できる機能的な施設・設備環境を整え、快適で十分な安全性、防災性、衛生的環境を整えた安全・安心な学校施設を整備する。
  - (1) 小中学校教育用タブレット型パソコン設備等の推進（22, 733千円）  
（小学校全20校 16, 164千円、中学校全3校 6, 569千円）
  - (4) 学びを支える教育環境を整備する。
    - (1)保護者の負担軽減
      - ・遠距離通学者への通学補助（1, 954千円）
      - ・スクールバスの運行（51, 141千円）
      - ・育英奨学資金制度の充実
  - (4) 曾於高等学校の教育活動等を支援する。（16, 510千円）
    - (1) 大学等進学祝金贈呈事業

- (2) 制服等購入補助事業
- (3) 遠距離通学費補助事業
- (4) 資格取得費補助事業
- (5) 部活動活性化支援事業
- (6) 全国大会等出場支援事業
- (7) 夢実現チャレンジ支援事業
- (8) 広報支援事業
- (イ) 学校給食の充実を図る。(164, 878千円)
  - (1) 安心・安全な給食を提供するための学校給食センターを管理運営する。
- ★(2) 子育て支援の立場から、保護者負担の軽減策として、小・中学校の給食費月額3分の1以内の補助を平成30年度から実施する。(27, 808千円)

## 【学校教育課】

- ア 学校教育の充実～「夢実現」を支援するためのキャリア教育の積極的な推進** (129, 418千円)
- (ア) 学力向上～基礎学力の定着を推進する。
    - (1) ICT支援員を配置し、電子黒板やタブレット型コンピュータを授業に活用し、学ぶ意欲を高める授業を推進(2, 842千円)
    - (2) 特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒へ個々に応じた教育を実施(35, 746千円)
    - (3) 学力向上支援員を配置し、わかる授業を推進(25, 436千円)
    - (4) 小中連携や集合学習による「学びの連携」を通じ、9か年を見据えた学力向上を推進
    - (5) 各種検定料補助金の支給により、学習意欲を高め、基礎学力の定着を推進(1, 935千円)
  - (イ) 生徒指導
    - (1) いじめ・不登校の未然防止のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置(4, 335千円)
  - (2) 不登校児童生徒の解消に向けて、適応指導教室を設置し、児童生徒の学校復帰を支援(4, 632千円)
    - (ウ) 児童生徒の体力・気力の向上を図る。
      - (1) 学校、家庭、地域との連携による、健やかでたくましい児童生徒の育成
    - (イ) 安全教育・安全管理を徹底する。
      - (1) スクールガードや地域ボランティア、関係機関・団体などの地域の教育力を活かした取組の推進

## 【社会教育課】

- ア 生涯学習の推進と社会教育の充実** (275, 352千円)
- (ア) 生涯学習の充実(13, 992千円)
    - (1) 市民が、いつでも・どこでも・だれでも学べ、学んだ成果をまちづくりに活用出来る体制の推進
    - (2) 曾於市総合大学の拡充
    - (3) 幼児期からの読書習慣定着への取り組み～はじめての絵本事業
    - (イ) 青少年教育の充実(10, 217千円)
 

将来を担う青少年が自分の夢に向かって全力でチャレンジできるよう「夢実現チャレンジ事業」として、各種事業を実施する。

      - (1) 青少年リーダー研修事業
      - (2) チャレンジ・ザ・日本一富士登山事業
      - (3) 青少年海外研修派遣事業
      - (4) 中学生を対象にしたイングリッシュキャンプ事業
  - (ウ) PTA活動や家庭教育の充実を図る。(2, 617千円)
 

家庭・学校・地域と連携し、PTA活動や家庭教育の充実に努め、また、校区公民館を中心にした学校応援団活動を充実する。
  - (イ) 文化の振興及び保存継承を図る。(49, 664千円)
    - (1) 市民のニーズに即した自主文化事業の開催や自主学習グループの育成、吉井淳二記念展の開催など曾於市らしい文化活動の振興
    - (2) 郷土の先人たちが築いた歴史や文化・祭りなど地域に残る文化財や郷土芸能の保存継承の強化
    - (3) 「弥五郎どん祭り」などの無形民俗文化財や山城跡などの史跡等の国指定に向けた取組の強化

- (オ) 各校区公民館の活性化のため活動補助金を支給する。(13,872千円)
- (カ) 図書館を効果的に運営し、読書のまちの推進を行う。(51,441千円)
- (キ) 社会教育施設の老朽化に対応し、安心して使えるよう計画的・年次的な改修を実施する。

**イ 市民の健康づくりと生涯スポーツの振興 (117,726千円)**

- (ア) 2020年の国民体育大会鹿児島大会を見据えて、生涯スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図るための大会等を実施する。
  - (1) そお市民体育祭
  - (2) カヌー大会
  - (3) 北別府野球フェスタ
  - (4) 健康づくり駅伝大会
  - (5) 悠久の森ランニング大会
- (イ) 社会体育施設の老朽化に対応し、安心して使えるよう計画的・年次的な改修を実施する。

#### (4) 特別会計

##### ① 国民健康保険特別会計

(歳入)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 国民健康保険税	802,469	14.6	793,703	11.4	8,766	1.1
2 使用料及び手数料	110	0.0	110	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	0	0.0	1,849,680	26.7	△ 1,849,680	皆減
4 県支出金	4,037,736	73.6	368,568	5.3	3,669,168	995.5
5 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰入金	592,485	10.8	604,420	8.7	△ 11,935	△ 2.0
7 繰越金	51,397	0.9	47,386	0.7	4,011	8.5
8 諸収入	2,093	0.1	2,090	0.0	3	0.1
療養給付費等交付金	0	0.0	109,406	1.6	△ 109,406	皆減
前期高齢者交付金	0	0.0	1,393,633	20.1	△ 1,393,633	皆減
共同事業交付金	0	0.0	1,769,631	25.5	△ 1,769,631	皆減
歳入合計	5,486,291	100.0	6,938,628	100.0	△ 1,452,337	△ 20.9
(歳出)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 総務費	57,576	1.0	61,774	0.9	△ 4,198	△ 6.8
2 保険給付費	3,994,811	72.8	4,224,762	60.9	△ 229,951	△ 5.4
3 国民健康保険事業費納付金	1,349,350	24.6	0	0.0	1,349,350	皆増
4 共同事業拠出金	3	0.0	1,713,566	24.7	△ 1,713,563	△ 99.9
6 保健事業費	69,675	1.3	70,851	1.0	△ 1,176	△ 1.7
8 公債費	770	0.0	807	0.0	△ 37	△ 4.6
9 諸支出金	4,106	0.1	4,103	0.1	3	0.1
10 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
後期高齢者支援金等	0	0.0	592,301	8.5	△ 592,301	皆減
前期高齢者納付金等	0	0.0	2,147	0.0	△ 2,147	皆減
病床転換助成事業納付金	0	0.0	4	0.0	△ 4	皆減
老人保健拠出金	0	0.0	60	0.0	△ 60	皆減
介護納付金	0	0.0	258,253	3.7	△ 258,253	皆減
歳出合計	5,486,291	100.0	6,938,628	100.0	△ 1,452,337	△ 20.9

##### (予算編成概要)

平成30年度の国民健康保険特別会計予算については、国保制度改革により、本年度から県も保険者となり市町村と共同で運営することとなり、財政運営の仕組み等も大きく変わりました。

予算編成については、国民健康保険制度の使命とその性格に鑑み、これまでの実績を基に、療養給付費、療養費、高額療養費、国民健康保険事業納付金等を推計し、これを賄うに足りる保険税を公平かつ適正に賦課徴収することを旨としています。

また、療養諸費等は、年間平均の世帯数を対前年度11.0%減の6,066世帯、被保険者数を対前年度6.7%減の10,241人として見込んだところです。

市民一人ひとりが健康であることが医療費の引き下げにつながるものであり、特定健康診査等の目的を達成することと併せて、被保険者の健康づくりへの意識高揚に努めるとと

もに、収支両面にわたる経営改善についても一層努力してまいります。

予算総額は、5,486,291千円となり、平成29年度当初予算に対して、1,452,337千円、20.9%の減となりました。

前年度に対して減額となった主な要因は、国保制度改革に伴う高額医療費共同事業及び保険財政共同安定化事業が廃止されたこと等によるものです。

## ② 後期高齢者医療特別会計

(歳入)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 後期高齢者医療保険料	320,400	55.6	299,159	52.7	21,241	7.1
2 使用料及び手数料	11	0.0	11	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	453	0.1	0	0.0	453	皆増
4 繰入金	253,899	44.0	267,891	47.2	△ 13,992	△ 5.2
5 繰越金	1,001	0.2	100	0.0	901	901.0
6 諸収入	513	0.1	513	0.1	0	0.0
歳入合計	576,277	100.0	567,674	100.0	8,603	1.5
(歳出)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 総務費	27,706	4.8	24,251	4.3	3,455	14.2
2 後期高齢者医療広域連合納付金	548,059	95.1	542,911	95.6	5,148	0.9
3 諸支出金	512	0.1	512	0.1	0	0.0
歳出合計	576,277	100.0	567,674	100.0	8,603	1.5

### (予算編成概要)

平成20年度から施行された75歳以上(65歳以上の一定の障害のある方を含む)を対象とした後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者がその負担能力に応じて公平に負担し、医療の給付等に資する事を目的としています。

また、各県の後期高齢者医療広域連合が保険者となり、保険料の制定や医療費の支払等を行い、県内公平な賦課が行われているところです。

市町村の業務は、介護保険料同様に個々に賦課される保険料の収納と保険証交付等の窓口業務が主となっています。保険料の収納に当っては特別徴収が主であり、特別徴収ができない方については普通徴収となっています。

平成30年度における後期高齢者医療特別会計予算については、平成30年度から31年度の保険料率を所得割率9.57%、均等割額50,500円とし、年間平均の被保険者数を8,407人として保険料等を見込みました。

予算総額は、576,277千円となり、平成29年度当初予算に対して、8,603千円、1.5%の増となりました。

### ③ 介護保険特別会計

(歳入)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 保険料	793,624	14.5	757,887	13.9	35,737	4.7
2 使用料及び手数料	20	0.0	20	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	1,561,106	28.5	1,580,819	29.0	△ 19,713	△ 1.2
4 支払基金交付金	1,400,003	25.5	1,450,284	26.6	△ 50,281	△ 3.5
5 県支出金	765,810	14.0	752,882	13.8	12,928	1.7
6 繰入金	937,302	17.1	899,310	16.5	37,992	4.2
7 繰越金	25,000	0.4	10,000	0.2	15,000	150.0
8 諸収入	6	0.0	6	0.0	0	0.0
9 分担金及び負担金	1,566	0.0	1,566	0.0	0	0.0
10 財産収入	32	0.0	44	0.0	△ 12	△ 27.3
歳入合計	5,484,469	100.0	5,452,818	100.0	31,651	0.6
(歳出)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 総務費	171,225	3.1	161,673	3.0	9,552	5.9
2 保険給付費	5,036,538	91.8	5,070,698	93.0	△ 34,160	△ 0.7
3 地域支援事業費	262,762	4.8	197,666	3.6	65,096	32.9
4 基金積立金	33	0.0	45	0.0	△ 12	△ 26.7
5 公債費	538	0.0	807	0.0	△ 269	△ 33.3
6 諸支出金	6,052	0.1	6,052	0.1	0	0.0
7 予備費	7,321	0.2	15,877	0.3	△ 8,556	△ 53.9
歳出合計	5,484,469	100.0	5,452,818	100.0	31,651	0.6

#### (予算編成概要)

介護保険制度は、加齢に伴って要支援あるいは要介護状態になっても必要なサービスを総合的かつ一体的に提供することにより、その人の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう、国民みんなで支えあう仕組みとして定着してきました。この間、より実態に即した制度となるよう改正が行われてきましたが、平成30年度は、住みなれた地域で介護サービスや支援を受け、いつまでも安心して暮らし続けていくことができるように地域支援事業を更に強化し多様なサービスを展開していきます。

また、平成30年度から、第7期計画が始まり平成30年から32年度までの給付見込みに対する新たな保険料を設定したところであります。

予算総額は、5,484,469千円となり、平成29年度当初予算に対して、31,651千円、0.6%の増となりました。

#### ④ 公共下水道事業特別会計

(歳入)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 分担金及び負担金	3,681	1.9	3,731	2.0	△ 50	△ 1.3
2 使用料及び手数料	41,613	21.2	41,088	22.1	525	1.3
3 国庫支出金	7,500	3.8	0	0.0	7,500	皆増
4 繰入金	126,166	64.3	131,023	70.4	△ 4,857	△ 3.7
5 繰越金	1,800	0.9	1,000	0.5	800	80.0
6 諸収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
7 市債	15,400	7.9	9,300	5.0	6,100	65.6
歳入合計	196,162	100.0	186,144	100.0	10,018	5.4
(歳出)						
款	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 公共下水道事業費	73,405	37.4	63,687	34.2	9,718	15.3
2 公債費	122,057	62.2	121,731	65.4	326	0.3
3 予備費	700	0.4	726	0.4	△ 26	△ 3.6
歳出合計	196,162	100.0	186,144	100.0	10,018	5.4

#### (予算編成概要)

公共下水道事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質汚濁防止を目的に、平成9年度に事業認可を受け、平成28年度で計画面積200haを概成したところです。

平成30年度は、施設の維持管理及び下水道加入促進と公営企業会計移行作業を継続的に行うとともに、新規事業として浄化センター汚泥処理事業に取り組んでまいります。

予算総額は、196,162千円となり、平成29年度当初予算に対して、10,018千円、5.4%の増となりました。

### ⑤ 生活排水処理事業特別会計

(歳入)						
款	平成30年度		平成29年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 分担金及び負担金	6,612	5.9	6,612	5.8	0	0.0
2 使用料及び手数料	44,418	39.4	42,875	37.6	1,543	3.6
3 国庫支出金	15,417	13.7	15,417	13.5	0	0.0
4 県支出金	1,152	1.0	1,152	1.0	0	0.0
5 財産収入	3	0.0	3	0.0	0	0.0
6 繰入金	22,074	19.6	25,155	22.0	△ 3,081	△ 12.2
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 諸収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
9 市債	23,000	20.4	23,000	20.1	0	0.0
歳入合計	112,679	100.0	114,217	100.0	△ 1,538	△ 1.3
(歳出)						
款	平成30年度		平成29年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 総務費	50,485	44.8	49,235	43.1	1,250	2.5
2 生活排水処理事業費	46,900	41.6	47,151	41.3	△ 251	△ 0.5
3 公債費	14,794	13.1	17,331	15.2	△ 2,537	△ 14.6
4 予備費	500	0.5	500	0.4	0	0.0
歳出合計	112,679	100.0	114,217	100.0	△ 1,538	△ 1.3

#### (予算編成概要)

河川や湖沼などの公共用水域の水質汚濁の主な原因は、家庭から未処理で排出される台所や風呂などの生活雑排水によるものであり、その適正な処理が、今日の重要な課題となっているところです。

このような中、財部地区は、平成14年度から浄化槽市町村整備推進事業に着手し、事業を推進していますが、浄化槽が恒久的な生活排水処理施設として定着してきた今日、生活排水対策を今後更に効率的に推進することに鑑み、平成15年度より合併処理浄化槽設置推進員を委嘱し、住民に対して公衆衛生面からの施設整備を行う意義や自然環境に対する住民意識の高揚を図るとともに、生活排水対策の必要性について、定期的な広報・啓発活動を強力に推進し、本市の生活排水処理施設の整備に向けて取り組んでいるところです。平成29年度までの設置基数は、1,007基です。平成30年度も引き続き、国庫補助金や市債等を主な財源として、50基を設置する計画です。

予算総額は、112,679千円となり、平成29年度当初予算に対して、1,538千円、1.3%の減となりました。



⑥ 笠木簡易水道事業特別会計

(歳入)							
款	平成30年度		平成29年度		比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
	(A)		(B)		(C) = (A) - (B)		
	千円	%	千円	%	千円	%	
1 分担金及び負担金	64	0.3	64	0.4	0	0.0	
2 使用料及び手数料	11,226	61.7	10,980	67.0	246	2.2	
3 繰入金	3,290	18.1	3,561	21.7	△ 271	△ 7.6	
4 諸収入	2	0.0	1,779	10.9	△ 1,777	△ 99.9	
5 繰越金	3,622	19.9	1	0.0	3,621	362,100.0	
歳入合計	18,204	100.0	16,385	100.0	1,819	11.1	
(歳出)							
款	平成30年度		平成29年度		比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
	(A)		(B)		(C) = (A) - (B)		
	千円	%	千円	%	千円	%	
1 簡易水道事業費	14,413	79.2	12,323	75.2	2,090	17.0	
2 公債費	3,291	18.1	3,562	21.7	△ 271	△ 7.6	
3 予備費	500	2.7	500	3.1	0	0.0	
歳出合計	18,204	100.0	16,385	100.0	1,819	11.1	

(予算編成概要)

本水道事業は、大隅町笠木地区の関係する4地区（笠木地区・鍋地区・桂地区・牧地区）について、平成26年度から簡易水道事業特別会計を創設し、平成26年度から平成28年度までの3か年で施設を整備しました。

平成30年度は、維持管理費用を計上し、予算総額は、18,204千円となり、平成29年度当初予算に対して、1,819千円、11.1%の増となりました。

## (5) 企業会計

### ① 水道事業

(収益の収入～水道事業収益)							(単位：千円，%)	
項 目	平成30年度		平成29年度		比 較		増減額 (C)=(A)－(B)	増減率
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	千円	%		
	千円	%	千円	%	千円	%		
1 営業収益	498,362	86.9	495,310	91.2	3,052	0.6		
2 営業外収益	75,049	13.1	47,829	8.8	27,220	56.9		
3 特別利益	14	0.0	15	0.0	△ 1	△ 6.7		
合 計	573,425	100.0	543,154	100.0	30,271	5.6		
(収益の支出～水道事業費用)							(単位：千円，%)	
項 目	平成30年度		平成29年度		比 較		増減額 (C)=(A)－(B)	増減率
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	千円	%		
	千円	%	千円	%	千円	%		
1 営業費用	496,229	91.5	457,156	88.4	39,073	8.5		
2 営業外費用	38,765	7.1	52,208	10.1	△ 13,443	△ 25.7		
3 特別損失	600	0.1	600	0.1	0	0.0		
4 予備費	7,020	1.3	7,020	1.4	0	0.0		
合 計	542,614	100.0	516,984	100.0	25,630	5.0		
(資本的収入)							(単位：千円，%)	
項 目	平成30年度		平成29年度		比 較		増減額 (C)=(A)－(B)	増減率
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	千円	%		
	千円	%	千円	%	千円	%		
1 企業債	150,000	75.2	70,000	100.0	80,000	114.3		
2 国庫補助金	49,344	24.8	0	0.0	49,344	皆増		
合 計	199,344	100.0	70,000	100.0	129,344	184.8		
(資本的支出)							(単位：千円，%)	
項 目	平成30年度		平成29年度		比 較		増減額 (C)=(A)－(B)	増減率
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	千円	%		
	千円	%	千円	%	千円	%		
1 建設改良費	264,932	75.7	241,951	73.2	22,981	9.5		
2 企業債償還金	84,982	24.3	88,782	26.8	△ 3,800	△ 4.3		
合 計	349,914	100.0	330,733	100.0	19,181	5.8		

#### (予算編成概要)

水道事業は、市民が健康で豊かな生活を営むうえで、良質かつ安全で安定した水の供給が常に求められているところです。

平成30年度予算は、平成28年度実績及び平成29年度実績見込みを基礎に編成しました。施設整備は、補助金を活用して、末吉上水道と末吉簡易水道を統合する施設整備工事が主なものです。

平成30年度は、業務予定量として給水戸数を14,351戸、年間給水量3,741,207立方メートル、1日平均給水量10,250立方メートルを予定しています。

## (6) 平成29年度 最終(3月)補正予算

区分		補正前額 (A)	今回 補正額 (B)	補正後 予算額 (A) + (B)
		千円		千円
1	一般会計	23,557,918	△ 661,319	22,896,599
特別会計	2 国民健康保険特別会計	6,939,969	△ 113,652	6,826,317
	3 後期高齢者医療特別会計	573,774	12,555	586,329
	4 介護保険特別会計	5,618,096	31,503	5,649,599
	5 公共下水道事業特別会計	186,102	△ 5,590	180,512
	6 生活排水処理事業特別会計	114,339	△ 22,720	91,619
	7 笠木簡易水道事業特別会計	16,430	30,983	47,413
		小 計	13,448,710	△ 66,921
企業会計	水道事業 収益的支出	553,382	△ 12,074	541,308
	資本的支出	331,049	△ 38,952	292,097
合 計		37,891,059	△ 779,266	37,111,793

平成29年度曾於市一般会計補正予算第8号を提案しますが、今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる増減が主なもので、歳入については、交付金の追加や事業費の確定等による県支出金や市債等の減額、財源調整による財政調整基金繰入金の減額、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。

歳出については、事業費の確定及び執行見込みによる減額と施設型給付費や活動火山周辺地域防災営農対策事業の追加が主なものです。

この結果、歳入歳出661,319千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ22,896,599千円となります。各特別会計や水道事業会計においても、年度末までの執行見込みや事業費の確定、交付額の確定による増減を補正予算に計上しています。

(7) 平成30年曾於市議會第1回定例会日程

日 程	内 容
2月16日(金)	本會議(施政方針, 提出案件一括上程)
2月20日(火)	本會議(一般質問)
2月21日(水)	本會議(一般質問)
2月22日(木)	本會議(一般質問)
2月23日(金)	本會議(補正予算等総括質疑, 委員会付託)
2月26日(月) ~ 2月28日(水)	委員会
3月6日(火)	本會議(補正予算等委員会審査報告, 審議, 表決)
3月7日(水)	本會議(当初予算等総括質疑, 委員会付託)
3月8日(木) ~15日(木)	委員会
3月23日(金)	本會議(当初予算等委員会審査報告, 審議, 表決)